

# 通信小海

「今月のみ」と立  
「主を恐れる」とは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。」箴言一章七節

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治  
会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三五五 二七

郵便振替	三八四一	二
五三	一六七九	一四七七六
六六八三	一	一

## 造り主の知恵、

## 人の知恵

まつた。どこがどうなつて、青虫がサナギになつたのかもう思い出せない。手品である。もうしばらくすれば、あの美しいキアゲハになつて優雅に飛び立つのだろう。

# 見晴台の教会へどうぞ (小海駅東の丘の上)

牧師水草修治

## 地図

う。こんな奇跡がこの季節には、あちこちの創造主の知恵はなんと不思議なものだろ

## 地圖

「神の目にみえない本性、すなわち神の永遠ニンジン煙でくりかえされてゐるのである。

の力と神性は、世界の創造されたときからここに

のかた、被造物によつて知られはつきりと認

められるのであつて、彼らに弁解の余地はない。

このです。」ローマ書1:16

日曜日

サンデースクール 午前八時半

## 最近米国科学アカデミーの報告にかんす

## 「遺伝子操作動物の危険性」という記事を

読んだ  
人工の遺伝子操作を愛した生物が逃

に出して異生で繁殖し、自家の植物や動物を

おでやかでいい。特に千枚が自然の重物

三十九 生死能不妄乎 案一 いはる 三十九指作

ゲハの幼虫をくださった。黄緑に黒いしま模様、そこにオレンジ色の点がある。さわると、ヒエツ・マシユマロみたいにブニョブニョしている。ニンジンの葉っぱを一日中もりもり食べて、みるみるうちに大きくなつたのだが、昨日の朝は、体を曲げてじつとしていた。「はあ絵本の『はらべ』青虫みたいに、食い過ぎておなかをこわしたかな。」と見ていると、黒いしまもよつが薄れていき、頭がツンととがつってきて、サナギになつてしまふ。

集会あんない  
のかた、被造物によって知られはつきりと認められるのであつて、彼らに弁解の余地はないのです。」(ローマ書一:一)

最近、米国科学アカデミーの報告にかんする「遺伝子操作動物の危険性」という記事を読んだ。人工の遺伝子操作を受けた生物が逃げ出して野生で繁殖し、自生の植物や動物をおびやかすという。特に、それが自然の動物よりも生殖能力がすぐれているように操作されていいる場合、自然動物を絶滅させてしまふ個人的な相談に

水曜日 祈り会 午後  
第三金曜日 贊美歌 午後  
\*八千穂・海尻・川上 朝礼拝  
夕礼拝

\*個人的なご相談にも乗ります。

\*八千穂・海尻・川上でも家庭集会あり。  
\*個人的なご相談にも乗ります。

水曜日 祈り会 午後一時半と午後七時半  
第三金曜日 賛美歌と聖書に親しむ会

午後七時半

うことになる。人は、目先、早く成長する

牛や豚や養殖魚を造ることができれば、巨  
万の富が手に入るところで、すぐに飛  
びつくのだろう。が、長い目で見ると地球  
の生態系をおかしくして、人間が生きるた  
めの環境そのものを破壊してしまう危険  
がある。

バイオテクノロジーに手をつけた人間  
は生命の仕組みまでコントロールできる  
知識を得たと思い、上がっているのだが、所  
詮、人の知恵は有限である。目先のものし  
か見えないし、欲がからめばなおのこと見  
るべきものが見えなくなる。すべてを見と  
おしておられる創造主を畏れることができ  
こそほんとうに必要ではなかろうか。生物  
の一つ一つに計画をもつてお造りになつ  
た創造主を愛することができ必要ではなか  
うか。

「主を恐れることは知識の初めである。

愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。」

箴言一・七

アーキモチヨカツタ たのしかつた

## 福音指圧教室

感謝！南牧村の広報もご協  
力くださいました

日時 九月一・十一日（日）

午後一時半から四時

\*お一人でのご参加も歓迎。

\*持ち物バスタオル（敷いて使います）

風がにわかに秋を告げて、からだのほうが  
ついて行かないという方もいらっしゃるの  
ではありませんか。肩はどうですか？腰はどう  
ですか？おなかの調子はどうですか？  
今月も指圧教室をします。心もからだも健  
やかになつてください。

山谷の炊き出しのためにお米が必要をお願いし  
てまいりましたが、このたび、南牧村の広報でも山  
谷支援を訴えてくださり、早速、たくさんお米を届  
けてくださる方が現われました。また、八千穂村の  
民宿のかたは、たくさんのしょうゆや油や調味料を  
くださいました。

皆様のご協力で、八月いっぱい切れそうだった  
お米が、十月まで持ちそうです。ほんとうに感謝で  
す。山谷の炊き出しと、自立支援のために、ご協力  
を続けてお願いします。

### 山谷支援

小海町役場 九一・二五一五

藤田寛 ヤマト運輸・台東支店止め(着店番  
号三一 五)クロネコ宅急便で  
カンパ 〒振替 一四一四・五三七九六  
を持つためである。」三ハネ三・十六

「神は、実に、そのひとり子をお与えになつた  
ほどに、世を愛された。それは御子を信じる者  
がひとりとして滅びることなく永遠のいのち

## 父母を離れ

「それゆえ男は、その父母を離れ、妻と結び合い、二人は一体となるのである。」

創世記一二一十四

聖書は、幸福な結婚の三段階を述べています。第一に父母を離れる、第二に妻と結び合う、第三に「一人は一体となる」とことです。今回は、第一の「父母を離れる」つまり親離れということについて。

「やあ、また家内に泣かれてしまいました。」とMさんは語り始めました。「実は、味噌汁の味がおふくろの味があとついもうしてしまったんですよ。これで、四回目。」Mさんはおふくろの味が忘れられなかつたわけです。

結婚したら料理を食べるたびに、「おふくろはこんな味じゃなかつた。」というな

らば、奥さんはそのプレッシャーでまといつてしまつでしょ。おふくろの味はおふくろの味、奥さんの味は奥さんの味です。結婚したら、おふくろの味は忘れて奥さんの味を楽しめるようになります。まあ奥さんとしては、「じゃあお母さんに今度教わつておくわ。」と言える心の余裕もあるのが理想ではあります。とにかく基本的には結婚したら「父母を離れ」です。

結婚式の時、ある先生が「自分の失敗談をお話しくださいました。」「結婚した翌日の朝、私はたいへんいやな思いをしました。その翌朝も、さらにその翌朝も・・・。そしてついに私は爆発してしまいました。」一体何が发生了のでしょうか。歯ミガキのチューブでした。先生は幼いときから「歯ミガキは端っこからしほるんだ。」ときつくしつけられて來たのですが、奥さんが育つた家庭で「歯ミガキなど、どこから絞つても同じ」という方針でした。

ある人は玄関の靴を並べよとしつけられてしまましたが、結婚してみると夫が自分がぬいだ靴を並べなおそうとしません。それが気になつて気になつてしかたがないといいま

す。ある奥さんは、ずっと取りばしを使う家庭で育つたのに、お嫁に来たらじかばしなのでいやだと言いますし、夫は取りばしなど他人行儀でいやだといいます。

ハミガキをはしからしほるか、それとも真中でいいのか。くつをそろえるかどうか。取りばしをつけるか、じかばしか。どちらでも良いことです。習慣にこれは絶対といふことはありません。聖書にじかばしにせよとも、取りばしをつけよとも、はみがきのチューブは端からしほれとも真中でよいともあります。「それゆえ、父母を離れ」です。自分の育つた家の習慣を絶対としないで、夫婦で新しい家風を作つていけばよいのです。「それゆえ、男は父母を離れ・・・」です。それが妻と結び合い、夫と結び合つために必要な覚悟といつものです。